



# ペトリ M-35

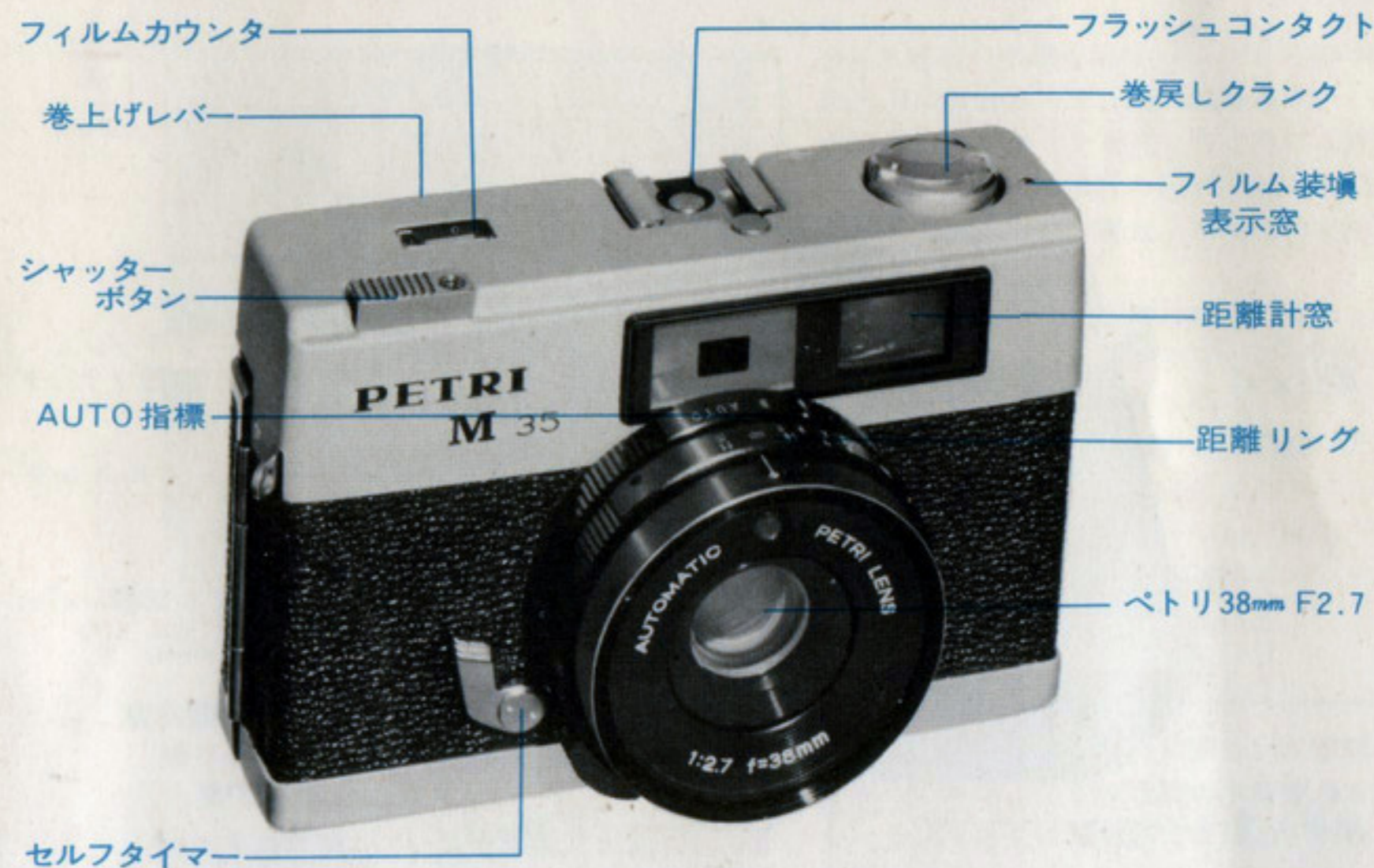
使用説明書



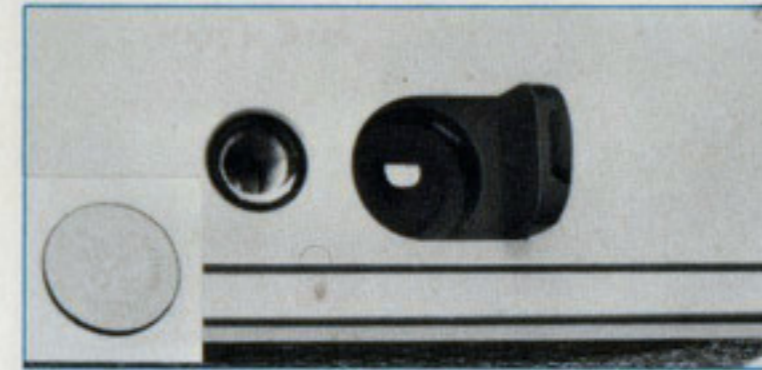
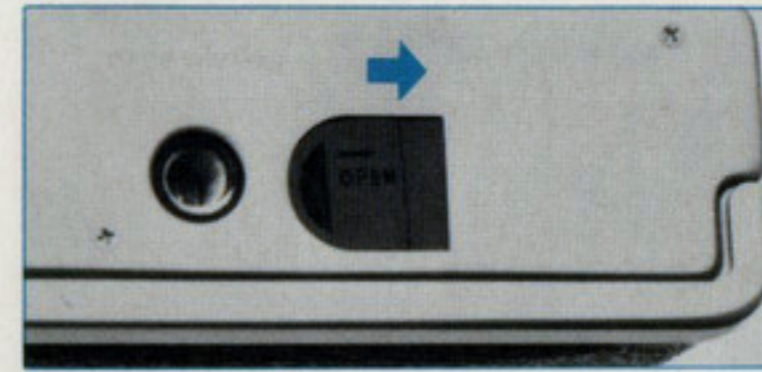
## 主な性能

レンズ	ペトリ38mm F2.7 3群4枚構成
シャッター	コバルBマツト特殊プログラム自動シャッター セルフタイマー内蔵 シャッタースピードB・1/30~1/650秒 無段階変速 フラッシュ時 1/25秒 X接点
露出調整	CdS自動E E機構 受光角上下26°、左右30° 1.3V 水銀電池電源使用
E E連動範囲	EV 8~EV17 (F2.7 1/30秒)~(F16 1/650秒) フィルム感度目盛 ASA25~400(DIN15~27)
ファインダー	採光式ブライツフレーム 倍率0.46X パララクス補正マーク シャッター速度・絞り目盛表示 露出警告マーク
距離計	一眼二重像合致式 補正鏡使用 有効基準線長12mm 連動範囲1 m ~
フラッシュ連動	フラッシュマチック方式 (フラッシュ切替えがフォーカスリングと 結合する) 連動距離1~8 m ノーコードフラッシュ接続並びにソ ケット接続
フィルム巻き上げ	一操作巻き上げ シャッターセルフコッキング 自動フィルムカウ ンター順算式 二重露出防止
フィルター	ネジ込み式 径46mm ピッチ0.75mm
寸法・重量	110mm(巾)×70mm(高さ)×54mm(厚さ)・350g

## 各部の名称



## 水銀電池の入れ方



カメラ底部の水銀電池室のふたを矢印のOpenの方向に引きますと、蓋は開きます。

水銀電池の+マークが見えるように入れ、蓋をします。その場合⊕と⊖の入れ方を間違えますとメーターは作動致しませんので注意して下さい。

●水銀電池は一年に一度は新しいものとお取り換えください。寿命がなくなるとCdSメーターが動かなくなります。明るい所でもファインダー内のメーター指針がふれないときは新しい水銀電池と取り替えてください。

●水銀電池は1.3VナショナルH-C<M-1C>東芝HS-C<TH-KC>マロリーPX-675 エバレディーEPX-675などを使用して下さい。

●水銀電池のお取替は使用済の電池と交換をお願いします。

カメラに使用している水銀電池は完全シールをしていますので、カメラをご使用中に電池の中身が外に出ることはありませんが、身近

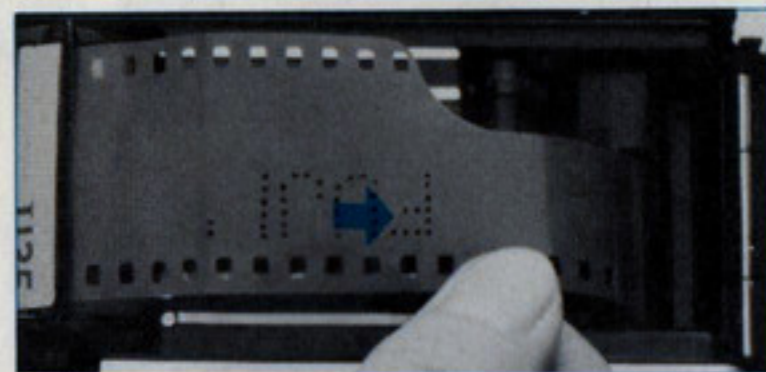
な水銀汚染をなくすために新しい水銀電池をお求めの時は、必ず使用済の水銀電池を持参し、カメラ店又は電気店にて現品と引換えてお求め下さい。

## フィルムの入れ方

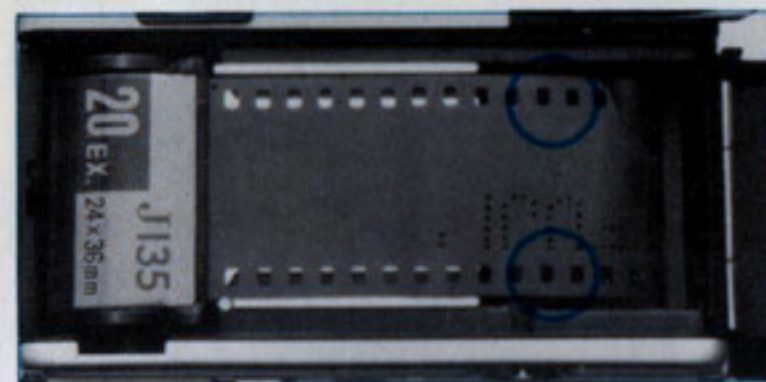
フィルムはパトローネ入り35mmの12枚、20枚、36枚どりが使えます。



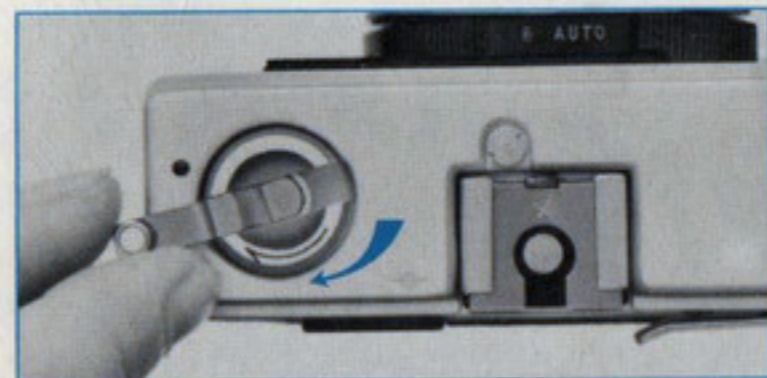
① 巻きもどしノブを引き上げますと裏蓋は開きます。



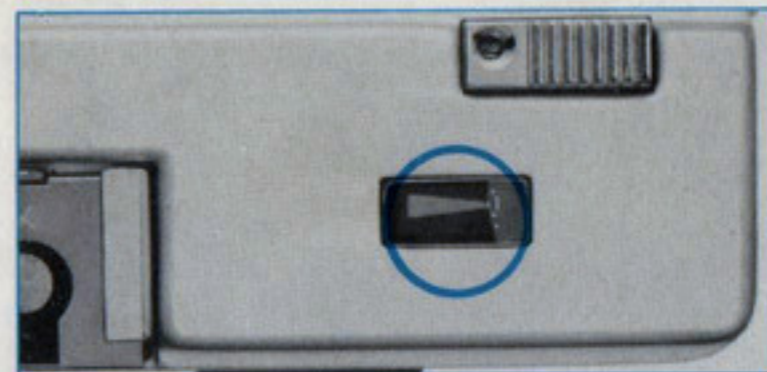
② パトローネの軸が出ている方を下にして、パトローネ室に入れ巻きもどしノブを元の位置まで押し込み左手でパトローネを軽く押えながら右手でフィルムを持って少し引き出し、その先端を巻き取りスプールのフィルム差し込み溝、どの溝でも結構ですから差し込んで下さい。



③ パトローネを軽く押えたまま巻き上げレバーを回します。次にシャッターボタンを押し、カラ写しをしてフィルムのパーフォーレーションの上下ともスプロケットの歯にかみ合っていることを確認して裏蓋を閉じます。



④ 裏蓋を閉じたら、巻きもどしクランクを起し矢印の方向に静かに回してパトローネ内のフィルムのタルミをとっておきます。



⑤ フィルムを巻き上げてシャッターボタンを押す操作をくり返しフィルムカウンターの指標に1をだします。ここから撮影が出来ます。



⑥ フィルム巻き上げを行うごとに巻きもどしノブが回れば正しくフィルムが巻られていることとなります。フィルムカウンターは巻き上げレバーを操作するごとにひと目盛ずつ進み、撮影枚数を指示します。

## EE撮影



① フィルム感度切替えレバーを動かし使用フィルムの感度に相当する目盛に合せます。

●フィルム感度目盛のASAとDINはどちらもフィルム感光度の表示でフィルムの外箱や説明書に表示されて居ります。

ASA表示数字の間にある点はそれぞれつぎの数値を示しています。

ASA	400	•	200	•	•	100	•	•	50	•	25
DIN	(250)	(160)	(125)	(80)	(64)	(32)					

② マニュアルリングをAutoに合せます。

マニュアル切替えレバーを指で押しながらマニュアルリングを回し指標にAutoを合せ指をはなします。

③ ファインダーをのぞき指針が適正露出範囲にあるとき(露出の確認で説明)ピントを合せ構図を決めてシャッターボタンを押すとEE撮影が出来ます。



## 特殊撮影

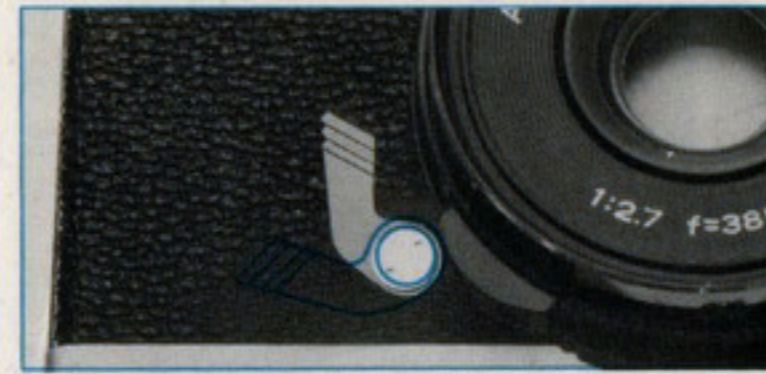


### フィルター

レンズ鏡胴の正面には46mmフィルターをネジ込めるようなネジ切りがついています。露出計受光部のCdSがレンズ鏡胴の前面にあり、フィルターを取り付けた場合でもいつも自動的に修正された適正露出が得られます。

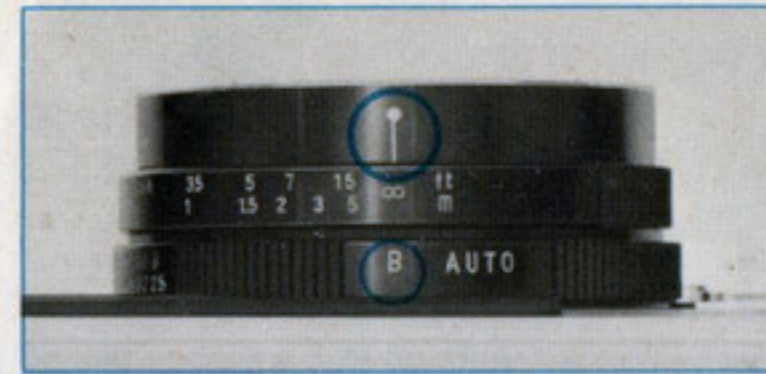
### セルフタイマー

セルフタイマーを使用すればご自分を写すことも出来ます。先づカメラをブレないようにしっかり据えてから、フィルムを巻き上げ、セルフタイマーを下向きにおろして下さい。シャッターボタンを押してから8秒程でシャッターが切れます。セルフタイマーはEE撮影、フラッシュ撮影いづれの場合でも使用出来ます。

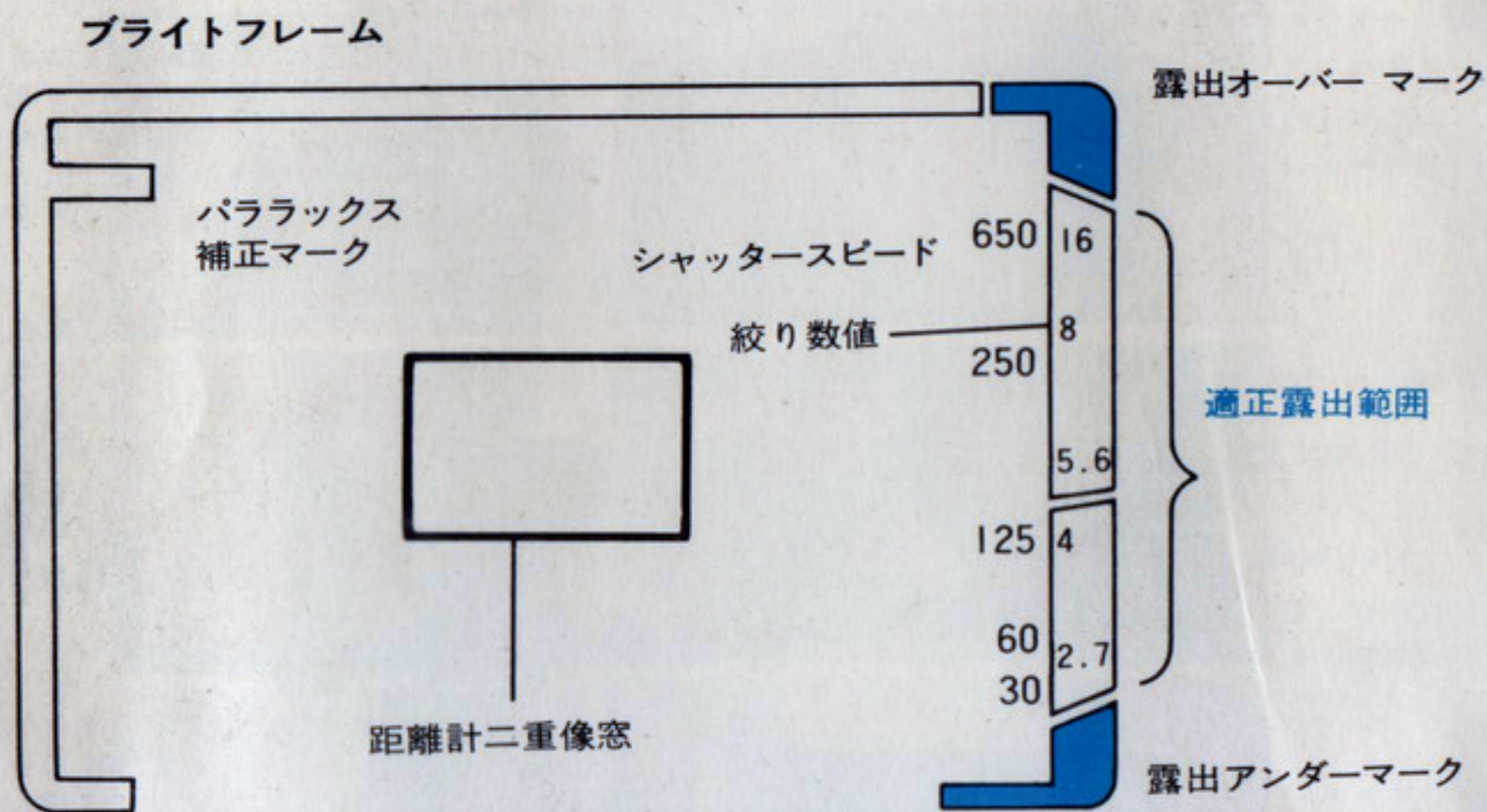


### B(バルブ)露出

マニュアルボタンを指で押し乍らマニュアルリングを回し、B目盛を指標線に合わせます。これをB露出といってボタンを押している間だけシャッターが開き(絞り開放のみ)指を離すと閉じるので、夜間撮影など弱い光線での長時間露出に用います。カメラをぶれないようにしっかり据えてからシャッターを切ることが大切です。



# ビューファインダーと構図



# ファインダー視野内での露出の確認

# 距離計(ピント合せ)

- ① 適正露出のとき  
正しい露出の範囲は上と下との赤い警告信号ゾーンに挟まれた区域内に示されます。したがって適正露出範囲内に指針があればいつでも撮影はOKです。
- ② 露出オーバーのとき  
周囲が余り明るすぎる場合にはメーター針が上方の赤い警告信号区域の中に現われます。こんなときには、レンズにNDフィルターをかぶせて光量を調整して下さい。
- ③ 露出アンダーのとき  
通常の露出でもうどうにもならない程光線が不足のときは、メーター針が下方の赤い警告信号区域の内に下がって現われます。こんなときはもっと明るい場所に被写体を移動させるか又はフラッシュ撮影に切り替えて下さい。



●パララックス補正マーク  
被写体がカメラから1mの近距離撮影の場合には、写したい主要部分がパララックス補正マークの外にはみ出さないように構図して下さい。それ以外の場合は外枠の通常フレーム内いっばいにきめてかまいません。

●ファインダーをのぞき乍ら距離リングを回して中央にある二つに分れた被写体の像が完全に一致したとき、正しいピントが得られます。特にフラッシュ撮影のときは正しいピント合せが大切です。

# フラッシュ撮影



●ベトリM-35では正確な計算に基づいたフラッシュ撮影が可能です。やり方はマニュアルボタンを押し乍らマニュアルリングを回し、使用するフラッシュのガイドナンバーに相当する目盛に合うように、FLASHの記号をガイドナンバーの目盛に合わせます。

●セットをする前に先づ使用するフラッシュバルブの外箱に記されてある表示をよく確かめた上で、下段のガイドナンバー目盛の中の相当する番号を選んで下さい。



このカメラに使用するフラッシュはノーコード式で標準球を使用するのが最適です。即

ちノーコード式ではこのカメラのアクセサリシューに取り付けるだけで直接接続されます。もしこの外のコード付きのガン又はストロボを使用するときはフラッシュ本体をアクセサリシューに取り付け、コード先端のプラグをカメラの右側にあるフラッシュ接続ソケットに差しこんでから使用して下さい。

ガイドナンバー(m)	フラッシュ連動範囲
8	1 m—2.7m
10	1 m—3 m
14	1 m—5 m
20	1.4m—7 m
28	1.7m—10m
40	2.6m—10m
56	3.5m—10m

●ベトリM-35でのフラッシュ撮影は今までのものよりもずっと簡単です。使用するフラッシュのガイドナンバーに合わせ、被写体にピントを合わせれば自動的に適正絞りが得られる仕組みになっているからです。ピントが合えばあとはただシャッターボタンを押すだけで同時に発光して完全なフラッシュ撮影が行なわれます。

●使用するフィルムの種類に関係なく、8メートル以上離れた被写体に対しフラッシュ撮影をしないようにして下さい。

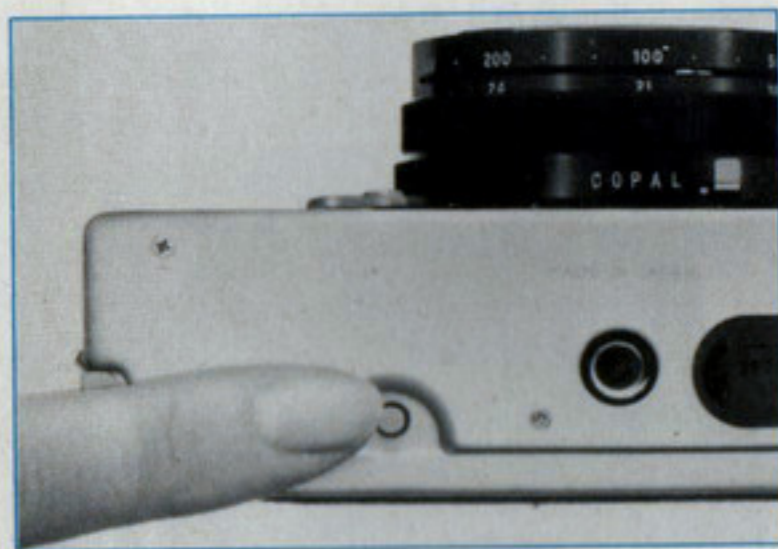
●フラッシュ撮影に切り替えるとシャッター速度は自動的に1/60秒にセットされます。

ベトリM35はX接点ですからM級、FM級のフラッシュバルブ、ストロボも同調します。

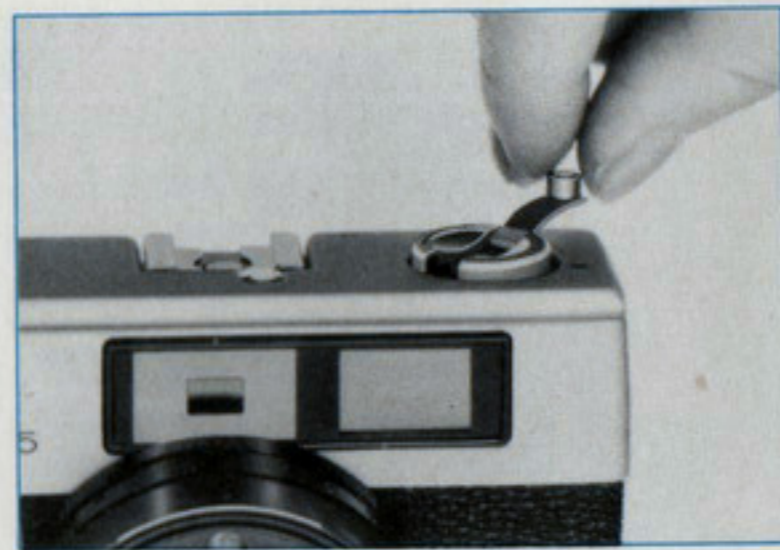
●ガイドナンバーの中間数字は次の通りです。

GN	m	56	·	28	·	14	·	8
	ft	180	·	90	·	45	·	25
				↓		↓		↓
				40		20		10
				130		65		32

## フィルムの巻戻し

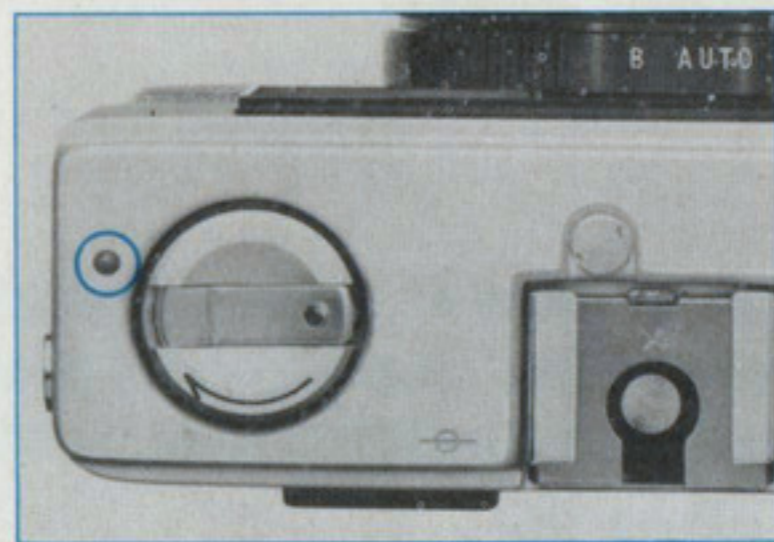


カメラに入れたフィルムの枚数だけ全部写し終わったら、フィルムをパトローネの中に巻き戻します。完全に巻き戻してから裏ぶたをあけないとフィルムを駄目にしてしまいます。巻き戻す際には巻き戻しボタンを押します。ボタンは一度これを押せばそのままになっています。



巻き戻しクランクを起してから矢印の方向に巻き戻しますが、巻き終わるとフィルムが巻き上げ軸から離れます。そのとき急に手ごたえが軽くなるので巻き上げを終えたことが判ります。それから巻き戻しクランクを引き上げ、裏ぶたをあけ、パトローネを取り出し、なるべく早い内に現像処理に回して下さい。

## ご参考までに



### ●フィルム装填表示窓

カメラにフィルムを入れますと小窓に赤マークが出ます。ウツカリ裏ぶたをあけて大事なフィルムを駄目にしてしまう失敗はなくなりました。

●カメラには、ホコリと湿気が大敵です。カメラはやわらかい布で拭き、カメラ内部はブローブラシか腰の弱いハケでホコリを除去します。

レンズはブローでチリをはらい、シリコンクロスなどでていねいに拭きとります。砂などがついたまま拭くとレンズにキズが入ってしまいますので、お気をつけください。

●カメラを長期間ご使用にならないときにはケースから出し、乾燥した風通しのよいところにしまいます。また、水銀電池は取り出し湿気のないところに保存してください。

●保管する場合は、シャッターやセルフタイマーは、必ず切っておきます。

### 標準価格

カメラ：¥21,800

ケース：¥1,800



## ペトリカメラ株式会社

本社・工場	東京都足立区梅田 7 - 25 - 12	Tel. 887 - 1111	〒123
東京営業所	東京都千代田区九段南 2 - 4 - 16	Tel. 261 - 9981	〒102
横浜営業所	横浜市中区長者町 2 丁目 5 番の 4	Tel. 681 - 7145	〒232
大阪営業所	大阪市西区北堀江上通 1 - 50	Tel. 541 - 5096	〒550
名古屋営業所	名古屋市中区栄 3 - 11 - 9	Tel. 251 - 5691	〒460
福岡営業所	福岡市博多区上川端町 14 - 13	Tel. 29 - 0653	〒812
仙台営業所	仙台市錦町 2 - 1 - 3	Tel. 25 - 1489	〒980
札幌出張所	札幌市中央区南 7 条西 10 丁目	Tel. 51 - 0686	〒060
沖縄センター	那覇市松山 1 - 1 - 11	Tel. 68 - 6109	〒900